



視点3 暮らし・活力
**視点3-1 污水处理施設の早期整備で
 快適な生活環境を創造します**

1. 『湘南ふじさわ下水道ビジョン』での方針・目標

藤沢市の下水道は昭和26年から施設整備を開始し、平成28年度末現在の下水道処理人口普及率は約95.5%（約41万人）に達しました。しかし市街化調整区域等の一部地区では污水管整備が遅れており、依然として約2万人の市民が公共下水道を使用できない状況となっています。また、生活雑排水の流入などにより、水路・河川など公共用水域の水質汚濁が改善できていない地区があり、污水处理施設の早期整備が求められています。

方針・目標 【長期目標】	<p>污水处理施設*を100%普及させます</p> <p>※污水处理施設は公共下水道のほか、浄化槽等の類似施設を含めます</p>
主な施策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 公共下水道計画区域の見直し 2) 段階的・効率的污水处理施設整備の実施 3) 浄化槽整備・維持管理手法の検討

2. 第1期アクションプログラムの評価

第1期アクションプログラム期間では、市街化調整区域等を中心に約116haの污水管路整備を行い、下水道処理人口普及率が95.5%に達しました。また、下水道事業計画区域外の住宅への浄化槽設置費の助成を約120基実施し、污水处理人口普及率は約96%に達しました。しかし、近年は市街化区域と比べて家屋間の距離が離れた地区の管路整備を行うことや、管路整備時に地震時の液状化防止対策効果のある工法を用いることなどから、事業費が増加する傾向にあります。また、浄化槽の助成件数も減少してきています。

今後、時間軸（10年概成）を考慮し、污水处理人口普及率100%の早期実現を目指すためには、污水管路整備に関するコスト縮減策の検討や、浄化槽の助成制度や整備・管理手法の検討を実施する必要があります。

	第1期アクションプログラムでの実施状況	評価指標	
		活動指標	効果指標
1) 公共下水道計画区域の見直し	H21年度の見直し計画に基づき整備を進め、H28年度により効率的な計画見直しを実施 😊	污水管路整備面積 目標：約90ha 実績：116ha 😊	污水处理人口普及率 目標：約95% 実績：96% 😊
2) 段階的・効率的污水处理施設整備の実施	費用効果や地区要件を考慮した整備優先度評価に基づき、効率的に整備を実施 😊		
3) 浄化槽整備・維持管理手法の検討	公共下水道事業計画区域外で約110基の浄化槽設置に対して助成を実施 😊		
施策評価	😊 対策優先度の高い地区や開発区域の污水管路整備を実施し、污水处理人口普及率は目標値の約95%を超えた		

用語：液状化、污水处理人口普及率



3. 第2期アクションプログラムの実施方針

平成28年度に策定した『藤沢市汚水処理施設整備構想』に基づき、引き続き効率的・効果的な下水道整備を推進していきます。また、浄化槽整備推進地区等では、特に負荷削減効果の高い、みなし浄化槽（単独処理浄化槽）から浄化槽への切り替えを促進するとともに、助成制度の見直しを検討し、汚水処理施設の早期整備を目指します。

【主な事業内容のポイント】

- 浄化槽整備促進の強化も含めた、汚水処理施設の早期整備実施
- ・ 個人設置浄化槽への助成制度の見直し検討（⑥）

表1 「視点3-1. 汚水処理施設の早期整備」の主な事業内容

主な施策項目	具体的な事業	種別	事業実施時期					
			29	30	31	32	33	34
1) 公共下水道区域の見直し	① 全体計画区域等の見直し	継続	→					
	② 事業計画区域の見直し	継続	→					
2) 段階的・効率的汚水処理施設整備の実施	③ 汚水管路整備（公共下水道事業）	継続	→					
	④ 汚水管路整備（新市街地）	継続	→					
	⑤ 流域下水道の建設・改築に関する費用負担	継続	→					
3) 浄化槽整備・維持管理手法の検討	⑥ 個人設置浄化槽への助成	見直し	→					
	⑦ 効率的整備手法の導入に関する研究	継続	→					
4) その他の取組	⑧ 汚水管路整備に関するコスト削減の取組	継続	→					
	⑨ 早期水洗化の促進（みなし浄化槽（単独処理浄化槽）から浄化槽への切替、下水道接続）	継続	→					
	⑩ 汚濁負荷削減への協力依頼	継続	→					

4. 第2期アクションプログラムの目標（活動指標と効果指標）

主な施策・事業の実施状況及び実施効果については、以下の活動指標・効果指標を基に、3年ごとに評価を行います。

表2 「視点3-1. 汚水処理施設の早期整備」の目標（活動指標と効果指標）

施策項目	指標		第2期AP目標		備考 (実績)
			中間評価 (H31年度)	第2期AP (H34年度)	
段階的・効率的汚水処理施設整備の実施	活動指標	汚水管路整備面積	約40ha (H29~31)	約60ha (H32~34)	H23~28末 116ha
	効果指標	汚水処理人口普及率	約96% (H31末)	約97% (H34末)	H28末 96%

※活動指標の計算方法……期間内の汚水管路整備面積

※効果指標の計算方法……汚水処理施設が普及した人口÷行政人口×100（累計値）